

南米最大の経済大国であるブラジルは、長年継続された政策の影響により、経済的な困難に直面している。しかし大幅な改革が具体化され、2026年以降は回復する兆しが見え始めている。

ベネズエラとニカラグアは

ナビゲーター

政治的な不安定によるリスクをもたらし続ける一方、アルゼンチンは別の様相を呈する。アルゼンチンは、短期的には最高の投資機会を提供する態勢を整えて、主な分野は以下である。石油・ガス、原子力のエネルギー産業。リチウムなどレアメタルの鉱業。

日本への期待 世界各地から

其

119

地域経済とブラジルの役割

南米ブラジルから(下)

穀物・食肉生産の農業。人工知能(AI)、暗号技術、神経科学のテクノロジー産業。観光、娯楽、金融のサービス産業。

だが、アルゼンチンだけで地域経済全体の大変革に対応するには規模が不足し、その役割は大きくブラジルにかかると。つまり、ブラジルに地域経済の将来がかかっている。

ブラジルは南米の他国とは異なり、特異な位置を占めてきた。ポルトガルの伝統と言語を持つため、歴史的に地域統合を妨げてきている。にも

かかわらず2億1千万人を超える人口と戦略的な地理的位置により、潜在的に南米における経済的なリーダーとなっている。経済的な回復と改革の軌跡は、この地域の将来を形作る上で重要な役割を果たすだろう。

最終的に、こうした変化が長期的な繁栄につながるかどうかは、各国がいかに効果的に改革を実施し、数十年にわたり成長を妨げてきた政治的・経済的障壁を克服できるかどうかにかかっているというのが結論である。

歴史的に、米国は南米の発展に対して距離を置いたアプローチをとってきた。南米における米国の外交政策は、長期の経済的な協力関係より、主にくわゆる目先の地政学的利益に左右されてきた。南米の新興ガバナンス・モデルは、主にむしる目先の地政学的利益に左右されてきた。南河の厳重な監視を維持してきた。しかし最近、中国はこの

【クリスチャン・ミゲンス
リーム中産連】
(月曜日に掲載)